

2024 年度
専門学校サンテクノカレッジ
学校関係者評価 報告書

評価対象期間：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

2025 年 10 月
学校関係者評価委員会

目 次

I	学校関係者評価の概要と実施状況	1
1.	学校関係者評価の目的	
2.	学校関係者評価委員名簿	
3.	学校関係者評価委員会の実施状況	
II	学校関係者評価委員会 評価結果報告	2
1.	教育理念・目的・育成人材像	2
2.	学校運営	2
3.	教育活動	3
4.	学修成果	4
5.	学生支援	4
6.	教育環境	5
7.	学生の受入れ募集	6
8.	財 務	6
9.	法令等の遵守	7
10.	社会貢献・地域貢献	7

I 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

専門学校サンテクノカレッジの学校関係者評価の目的は、以下の通りである。

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②本校の専門分野の関係団体、専門分野の関係業界、地元自治体、卒業生など、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

2. 学校関係者評価委員名簿

区 分	氏 名	所 属 等
関係団体	有 泉 一 廣	一般社団法人 山梨県情報通信業協会 事務局長
関係業界	※石 原 佳 典	株式会社ジインズ システムソリューション本部 製品開発室 シニアアドバイザー
	三 浦 誠	株式会社エスビーシー 代表取締役
地元自治体	丸 山 英 資	甲斐市 市長公室長
卒 業 生	徳 永 敏	サンテクノカレッジ同窓会 会長

※ 委員長

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

(1) 第1回委員会

- ・日時：2025年9月4日（水）10：00～12：00
- ・場所：専門学校サンテクノカレッジ 会議室

(2) 第2回委員会

- ・書面による学校関係者評価報告書の内容確認および承認。

II 学校関係者評価委員会 評価結果報告

1. 教育理念・目的・育成人材像（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 教育理念や目的は明確に定められており、学校運営の基軸として機能し長年社会のニーズを満たす人材の育成を行っている。
- 本校が目指す学校教育理念・目的・育成人材像が明確に明記され、学生に高い目標意識を持たせ各レベルに応じた資格取得にチャレンジし成果を上げている。
- 地域産業界の発展や情報教育の重要性を考え、最新技術習得に係る先生方の特色ある学習カリキュラムが充実している。
- 情報化社会のニーズの多様化に対応した人材を育成するために、積極的に外部関係機関と連携した取り組みを行っている。
- 社会生活・企業で重要視される「人間性」について、キャリアカウンセラーと面談を行い学生に指導している。
- 変化の激しい社会のニーズ、今でいうAIなどの最新技術を取り入れる取り組みがある。
- 卒業後の社会生活に不可欠な人間性について指導を行っている。
- 情報社会の中で様々の業種でDX推進、生成AIの取り組み及び推進がされており、情報科学の専門知識と技術を持つなど、情報観を持った技術者の育成を教育目的とする取り組みは適宜業界のニーズに即している。
- 各学科において最終目標（目指す職種）が明確になっており、社会のニーズ及び最新技術を取り込んでいる。
- 技術だけでなく人間性についての教育も行っている。

【改善すべき点】

- 特になし

2. 学校運営（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 教育目的に沿った運営方針さらに事業計画、各種規程が一貫した体系として整備され、それらに基づいた学校運営が実施されている。また、成績管理のシステム化を行い、学校運営の効率化にも常に取り組んでいる。
- 教育目的に沿った運営方針・事業改革が定められている。
- 運営組織委員会に外部有識者が多数任命されていて風通しが良い。
- 教員就業規程等も随時、見直しされている。
- 教育活動に対する情報公開については、各種 IT ツールや学校パンフレットを活用し積

極的に発信されている。

- 業務の効率化を図る観点から成績管理システム構築等必要な対策が取られている。
- 運営にまつわる各種規程、組織整備がきちんとされている。
- 各種管理システムが構築され効率化がなされている。
- 学校施設や設備の補修・更新などの計画は中期的に策定され、これに準じ学校運営が行われている。また、業務では成績管理システムの導入及び活用により効率的な運営が行われた。
- 教育目的に向かって、運営方針、事業計画の策定ができています。
- 一元管理のシステムや閉域網を使用した業務効率化、リスク管理ができています。
- 必要情報の公開が行われている。
- 学校運営に関して透明性が見られる。

【改善すべき点】

- 特になし

3. 教育活動（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

ー委員コメントー

【評価できる点】

- 堅実に教育活動を実施しており、社会のニーズに対応してのカリキュラムの作成・見直しが実施されている。
- 時代に求められている技術を多方面から情報収集し、現場の教育に積極的に取り組んでいる。
- 学生のスキル習得・取り組みを各種認定・資格試験受験やインターンシップ参加、関連分野の外部団体と連携することで校内学習以外の教育活動を実践している。
- 授業評価制度について外部有識者を参加させ評価の透明性が図れている。
- 教員が関連分野の先端的知識・技能を習得するための取り組みを継続的に実施している。
- 企業や自治体からの依頼やインターンシップで、より実践的な職業教育が行われている。
- 研修やセミナーで教員の知識や技術の向上が図られている。
- 教員については、専任教員の多くが企業での職務経験者であり、非常勤講師は各業界で活躍し、経験豊富な講師が教鞭をとることは評価できる。
- 講義と実習に加え、産学官と連携した様々の取り組みによる実践的な職業教育は、引き続き取り組みを推進して欲しい。
- 常に新しい知識や技術を授業に取り入れ、学生が実践的な仕事に対応できるように工夫して授業を行っている。
- 活動に対し外部評価を取り入れ、評価の透明性や客観性を高めている。

【改善すべき点】

- 教職員の技能・知識・指導力・資質向上に関しての取り組みは、継続的に向上させてい

く必要性を感じる。

4. 学修成果（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

ー委員コメントー

【評価できる点】

- 退学者数の低い水準の維持は、教職員によるきめ細かい対応の結果と推測される。
- 就職率を向上させるための活動に積極的に取り組んでいる。
- 各種資格試験合格率も上がってきている。本校の客観的な評価向上となっている。
- 退学者は減少傾向であり、教員の各層で保護者も巻き込んでフォローしている。
- 卒業後のキャリア形成の効果を随時収集し、今後の教育活動に活かしている。
- 高い就職率と退学者の低減。
- 卒業生の進路状況を着目すると情報システム科の進学者は他の学科より大幅に上回っており、しっかりとした進学・就職に向けた進路指導が行われている。
- IPA も含めた資格試験に複数の学生が合格できている。
- デザインでは、お菓子メーカーとのタイアップでデザインが採用されている。
- 学生の努力だけでなく、学校の協力体制、先生方の指導も大きな要因と考えられる。
- 就職内定率が高い水準を維持している（学校の就職指導も大きな要因であると思われる）。

【改善すべき点】

- 特になし

5. 学生支援（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

ー委員コメントー

【評価できる点】

- 山梨大学大学院への進学を希望した学生に対して個別指導を実施し合格するなど、学生の進路や就職に対して徹底した個別指導ときめ細かい支援を行っている。
- 同窓会役員の活動が再開され、4年ぶりに同窓会総会および懇親会が開催された。
- 指導員を中心とした進路・就職活動が活発に実践されている。また、外部団体が開催している展示会イベントや就職ガイダンス等も積極的に活用している。
- 学生に対する進路や生活に対する相談を実施している。また、経済的な支援や健康管理、サークル活動への支援も行っている。
- 社会人に対するリスキリングの機会が増えてきている。社会人の受け入れ態勢も整備されている。
- 学校内の教育活動に留まらず積極的に課外活動に参加することで、教員・学生間のコミュニケーションが強化されている。

- 就職率の高さ、さらには山梨大学大学院に合格できる支援体制。
- 高校生のインターンシップ受け入れでの本校のプロモーション。
- 進路・就職に関する支援体制では、外部講師の活用など新たな取り組みが行われていることは評価できる。
- 経済支援をはじめ、健康管理や生活環境への支援が充実されている。
- 学生一人ひとりの状況（就職活動や学生個人相談事など）を共有し、支援する体制ができています（高就職率の維持、退学者減につながっている）。
- 教職員の連携により、学生からの様々な相談に対応する仕組みが構築できている。

【改善すべき点】

- 特になし

6. 教育環境（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

ー委員コメントー

【評価できる点】

- 施設・設備は安全上および教育上の必要性を十分に考慮して、整備・保守されている。また、防災に対する取り組みも実施されている。
- キャンパス内の設備の改善や、時代とともに変化していくコンピュータ環境の改善にも積極的に取り組んでいる。
- 積極的にインターンシップ等 Face-To-Face の学習に取り組んでいる。
- 昨今、増加傾向にある災害に対する災害対策マニュアル等も見直し整備されている。
- 各学科、カリキュラムに則した学習環境が整えられている。
- 施設面の整備の充実により、学びの場のネットワーク環境の強化が図られた。いかに優れた人材を社会に送り出すことができるかが一つであり、引き続き学生が求める施設環境整備に取り組んでいただきたい。
- 学生が専門知識と技術を自由に学ぶための環境が整備されている。
- 休み時間や放課後なども自習でき、講義室や演習室も整備されている。
- 防災や学生の保険など、安心して学べる環境が提供できている。

【改善すべき点】

- 校内だけの学びではなく、外の環境を実感することにより個人のスキルアップ、外部人材との繋がりなど、学生に有利となる教育体制を構築していただきたい。
- 現在、ICT 技術は様々な分野で活用される中で、専門職員が不足しているのは現実である。ついては、情報技術業界以外の官公庁、製造業、商業などの分野でも技術者の確保が急務とされているので、インターンシップについては、学生に幅広く経験をさせていただきたい。

7. 学生の受入れ募集（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- LINE 公式アカウントを開設して、高校生からの問い合わせに対して、即対応できるようにした。
- 各種媒体（SNS、進学情報誌）を使って、昨年度以上の成果を出している。
- 県や市主催の各種コンテストへ参加し、地域社会とのコミュニケーションも図られ、学校プレゼンス向上に取り組んでいる。
- 学校の特色を教育活動を通じて県内外へ発信し、魅力ある学校教育活動が伝えられている。
- オープンキャンパスや見学会など、多様な学生募集活動が行われている。
- 募集時に教育活動実績として掲載できる成果が多数ある。
- パンフレットの刷新や Web サイト、SNS を利用した募集活動ができている。
- 外部の展覧会やコンテストに積極的に参加し、学校活動の成果を伝えることができている。

【改善すべき点】

- 中部横断自動車道開通もあり、静岡市方面への募集を強化しても良いのではないかと（少子化対策の一環として幅広く募集）。
- 時代に即した進学情報サイトの活用は効果がでているので、さらに多くの情報サイトを活用して欲しい。

8. 財 務（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 単年度収支の推移では安定した経営が行われている。
- 構内設備は老朽化に伴う機器等の更新等、中長期的な計画に基づき対応を実施している。
また、情報公開等を実施しており運営の透明性に努めている。
- 財務状況を公開することで学校運営の透明性が図られている。
- 借り入れなく安定的な学校運営を続けている。
- 単年度収支は、黒字となっており収支累計も増額傾向であり、健全経営に努められていることは評価できる。引き続き健全経営に取り組んでいただきたい。
- 資金運用や施設・設備の修繕、退職金等、健全で安定した財務体制になっている。
- 予算、収支の計画がなされ、実績の状況確認ができている。

【改善すべき点】

- 特になし

9. 法令等の遵守（評価結果／適切：5名・不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 法令等を遵守し、個人情報規程は規程を作って運用している。また、ネットワークは外部と遮断してセキュリティを確保している。
- サイバーセキュリティに対する脅威が高まってきているが、職員、学生共に注意喚起を行い規則に則り運営している。
- 学生に対して授業で指導している。
- 毎年の評価及び評価結果により、施策や問題点が改善されている。
- 法令・規則に従い、適切な運営ができています。
- 個人情報保護に関する対応ができています（指導及び閉塞網上のシステム構築）。

【改善すべき点】

- 自己評価及び学校関係者による評価に加え、学生による評価を受けてみてはいかがでしょうか。

10. 社会貢献・地域貢献（評価結果／適切：5名・不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 外部の様々な活動に参加し、地域社会との交流があり、学生にも良い経験となっている。
- 小学校への出前授業の実施、警察への動画提供、学校設備の利用など、地域連携活動を継続的に実施している。
- 地域社会のイベントに積極的に参加し、校内学習以外に地域社会との交わり方や地域貢献できる取り組みを積極的に実践している。
- 行政や民間企業からの数多くの依頼に対応できている。
- 警察へのセキュリティ情報の提供としてサイバー空間での防犯活動や、交通安全等施策としてYouTube動画の作成など、幅広い地域貢献は高評価できる。
- サイバー防犯ボランティア、交通安全施策に対し協力できている（社会貢献・地域貢献）。
- 学校及び駐車場の必要に応じた施設開放に協力できている（地域貢献）。
- 社会貢献・地域貢献に対する学校の積極性が見える。

【改善すべき点】

- 特になし